

**財務諸表に対する注記**  
(令和2年1月10日～令和2年3月31日)

公益財団法人アイネット地域振興財団

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

① 満期保有目的の債権

購入時の取得価額によっている。

② その他の有価証券は

時価のあるもの……決算日の市場価格等に基づく時価法  
(売却原価は個別法により算定)

時価のないもの……個別法による原価法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
投資有価証券	0	314,125,000	148,625,000	165,500,000
小 計	3,000,000	314,125,000	148,625,000	168,500,000
特定資産				
普通預金	0	4,000,011	4,000,011	0
公益目的事業引当預金	0	2,221,094	221,094	2,000,000
管理費引当預金	1,298,739	2,000,011	523,734	2,775,016
小 計	1,298,739	8,221,116	4,744,839	4,775,016
合 計	4,298,739	322,346,116	153,369,839	173,275,016

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対する額)
基本財産				
定期預金	3,000,000	(3,000,000)		
投資有価証券	165,500,000	(165,500,000)		
小 計	168,500,000	(168,500,000)		
特定資産				
普通預金	4,775,016	(4,775,016)		
受取寄附金				
投資有価証券				
小 計	4,775,016	(4,775,016)		
合 計	4,775,016	(4,775,016)		

4. 固定資産の取得額、減価償却累計額及び当期末残高

該当事項はありません。

5. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、公益目的事業の財源の大部分を運用益によって賄うため、債券、株式により資産運用している。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は、債券、株式であり、発行体の信用リスク、市場価格の変動リスクにさらされている。

(3) 金融商品のリスクに係る管理体制

財産管理・運用規定に基づく取引

金融商品取引は、当法人の運用基本方針に基づき行い、安全性の高い株式、債券を運用している。

6. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益  
該当事項はありません。

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳  
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容		金 額
経常収益への振替額	受取寄附金	231,533
経常収益への振替額	受取配当金	
小 計		231,533